

【分野名：社会科学】

大 学 名	一橋大学
拠点のプログラム名称	知識・企業・イノベーションのダイナミクス
中核となる専攻等名	商学研究科経営・会計専攻
拠点リーダー氏名	伊丹 敬之
<p>《拠点形成の概要》</p> <p>イノベーションは社会を発展させる。その源泉は知識である。企業システムは知識を創造する上で重要な役割を果たすばかりでなく、知識をイノベーションへとつなぎ、社会に具現化する上でも決定的な役割を果たす。このように、知識と企業とイノベーションの三者間のダイナミクスが重要であり、それを本拠点の中心テーマとする。</p> <p>本拠点に参加する3つの学内組織に、それぞれ領域別研究ユニットを設ける。すなわち、商学研究科には日本企業研究センターを、国際企業戦略研究科には知識経営研究プラットフォームを、イノベーション研究センターにはイノベーション研究プラットフォームをそれぞれ設置し、個々の専門領域内での深い研究蓄積を追求する。それと同時に、これら3つの領域別研究ユニットを横断するダイナミクスを研究するべく、制度・構造研究プログラムや経営者・人材プログラムなど、研究ユニットに横串を通した研究プログラムを設けて、領域別ユニットと視点別プログラムというマトリックス体制を作る。</p> <p>また、知識・企業・イノベーションのダイナミクスに関する知的インフラを構築していくことも、われわれの主要な目的の1つである。たとえば、知識・企業・イノベーションのダイナミクスを研究する上で重要な基礎的情報(イノベーションや経営のデータベース及びケースベース)の体系的蓄積を目指し、大学院生や若手研究者に知的・財政的支援を提供することで次世代研究者の育成にも努力を傾ける。より具体的には、大学院生も参加する国際共同研究プロジェクトの実施や、大学院で研究を遂行する学生への研究資金支援など、若手研究者育成のための具体的なプログラムを推進する。</p> <p>これらの活動の総合的な結果として、ビジネス分野の研究での世界への発信拠点、実務家との交流の場として、「日本の顔」とでも言うべき研究拠点を目指す。</p>	